

平成24年度 事務事業評価シート

※平成23年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	財政管理事務						継続		
コード	05	-	23	-	01	-	00	予算事業名	財政管理事務
担当部署	政策財政部		財政課		財政担当			予算事業コード	会計 10 款 02 項 01 目 04

1. 事業の位置付けと関連計画等

第三次川越市総合計画後期基本計画における位置付け 位置付けなしの場合 法令による実施義務

基本目標(章)	共通	協働によるまちづくりと健全で効率的な行財政運営の推進	根拠となる法令、条例等	地方自治法、予算の編成及び執行に関する規則等
方向性(節)	2節	行財政改革の協力的な推進		
施策	1	新たな行財政運営システムの構築	個別計画等の名称	なし
細施策				

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	健全財政を維持しながら、効果的・効率的な予算の編成及び執行を図る。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	予算編成方針に基づく予算編成(要求・査定)、予算執行管理、交付税事務を行う。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算額		58,078	2,155	1,018	1,016	968	
事業費	A	57,605	1,731	685	711	658	658
	B	12,210	12,210	12,210	11,470	12,950	12,950
総コスト(C=A+B)		69,815	13,941	12,895	12,181	13,608	13,608
正規職員(1年間の従事人数)		1.65人	1.65人	1.65人	1.55人	1.75人	1.75人
臨時職員(1年間の従事人数)		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
国県支出金	D	0	0	0	0	0	0
その他特定財源	E	0	0	0	0	0	0
市の財政負担(=C-D-E)		69,815	13,941	12,895	12,181	13,608	13,608

※24年度、25年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

成果	中心指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	指標の定義
成果	経常収支比率	%	91.5	95.3	92.2	91.8	市税等の経常的な一般財源が、経常的経費に使われた割合
中心指標の考え方	本事業は成果指標を中心に評価する。						
指標に基づく評価	経常収支比率は平成22年度に対し、平成23年度は0.4ポイント減となったが、依然として90%を上回っている。						

5. 事業の実施を通じた分析・評価

(1) 現在の課題と状況	有効性に課題
一般財源の確保とともに歳出の見直しを継続的に実施しているが、性質上短期間での大幅な減少は困難である。	
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)	
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	
既に予算説明書の印刷製本費等の経費は見直しており、これ以上の経費削減は業務に支障をきたす。	
(4) 所属長自己評価(今後の方向性)	改善(見直し)
財政構造の弾力性を確保することは重要であり、そのためには継続的に行財政改革を行う必要がある。	